**「アフリカの感染症を知る」シリーズ 第14回講演会」**

**～**フランス語圏における感染症対策の現状と課題～

アフリカ協会文化・社会委員会主催「アフリカの感染症を知る」シリーズの第14回講演会です。今回は長崎大学大学院教授の藤田則子先生にお話をお伺いします。

前回は、青年海外協力隊、NGO団体、JICAなど様々な立場でアフリカの保健分野における国際協力活動に長年携わり、現在もJICAで保健分野の国際協力専門員として活動されている角井信弘氏に、ナイジェリアの乳幼児に対する予防接種の現状と、同国ラゴス州滞在時に

予防接種率向上のために行われた取り組みを中心にお話を伺いました。

ナイジェリアはアフリカ最大人口の国であり、石油や天然ガスを始めとする豊富な天然資源のもと、国内GDPがアフリカで最も高い国ではありますが、他方北のイスラム地域と南の非イスラム地域の対立や貧困層の増加による貧富の差の拡大などの多くの課題を抱える国でもあります。特に貧困により定期的な予防接種が受けられないことから小児死亡率は世界でも非常に高い国となっています。この改善の為、JICAを中心に如何に尽力されているか、その実態が良く理解できる講演であったと思います。

今回お話を頂く藤田則子先生は、長年国立国際医療研究センター国際協力局に所属され、カンボジア・アフガニスタン及びフランス語圏アフリカでの保健分野の国際協力活動に長年携わり、現在は長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科にて教鞭を執っていらっしゃいます。今回は、フランス語圏での感染症対策の現状と課題や感染症対策に関わる人材育成などについてお話を伺います。大変興味深い講演となると期待しますので、多数の皆様のご参加をお願いいたします。

**概要**

日時：　 2025年4月17日（木）　14時から15時30分

場所：　 オンライン（ZOOM）

テーマ：　「フランス語圏における感染症対策の現状と課題」

講演者：　藤田則子　　 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科　教授

司会 ：　池上清子　 アフリカ協会副会長、

公益財団法人アジア人口・開発協会副理事長

**プログラム**

　14時00分　　 開演

　14時00分　　 開催挨拶・講師紹介（池上清子委員長）

　14時10分　　 講演　　　　　　　（藤田則子長崎大学大学院教授）

　15時00分　　 質疑応答　　　　　（司会：池上清子委員長）

　15時30分　　 終了

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上

**講師略歴**

**藤田則子：（ふじた　のりこ）**

1983年に東京医科歯科大学医学部を卒業後、幾つかの病院での実務経験を経て、1998年より国際保健・熱帯医学の分野の活動を始める。JICAの活動の一環として、カンボジアでは母子保健の向上や妊婦死亡の削減、アフガニスタンでのリプロダクティブ・ヘルス確立、フランス語圏アフリカでの衛生管理者の人材育成などに従事。2023年まで、国立国際医療研究センター国際協力局に所属した後、2023年4月より長崎大学大学院熱帯医学グローバルヘルス研究で教授として勤務。

**池上清子：（いけがみ　きよこ）**

国連難民高等弁務官事務所、国連本部、国連人口基金、長崎大学大学院教授などを経て、現在(公財)アジア人口・開発協会副理事長。アフリカ協会副会長。

また、（公財）ジョイセフ、国際家族計画連盟ロンドン本部、（公財）プランインターナショナルジャパン（理事長）、日本赤十字社（常任理事）など多くの市民社会組織（CSOｓ）で経験を積む。一貫して、開発途上国の女性の健康推進、自立支援に携わっている。